

# 子ども食堂における学生ボランティアの意識変容の考察： 子どもの貧困観と子どもとの関わりに着目して

北九州市立大学 社会システム研究科  
地域コミュニティ専攻  
2021M30006 成方正

## 要旨

本研究では、子ども食堂における学生ボランティアに焦点を当て、参加前後の子どもの貧困観と子どもとの関わりの分析を通じて、意識変容のプロセスを明らかにすることを目的とする。変容のプロセスをボランティアの視点から捉えるために、9名の学生ボランティアへの半構造化インタビューを実施し、テキストマイニングとKJ法で分析した。結果として、学生ボランティアは、もともとの子どもの貧困観が必要なものが揃わないことなどの生活の厳しさから、寂しさを抱えた心の貧困と孤立してバルネラブルな状態となる関係の欠如に捉えるようになった。また、活動の経験を通じて、子どもに関することを把握し、環境づくりに努力して子どもを支える存在になろうとしていた。子どもの貧困観の変化により、学生ボランティアが子どもとの関わりについて不足していることを意識した。最後に、研究結果を踏まえて、子どもの貧困観の変化により、ボランティアが子どもと関わることを通じて子どもの福祉に寄与する社会的包摂の取り組みとしての子ども食堂の意義を考察した。

キーワード：学生ボランティア、子どもの貧困観、子どもとの関わり、子ども食堂